

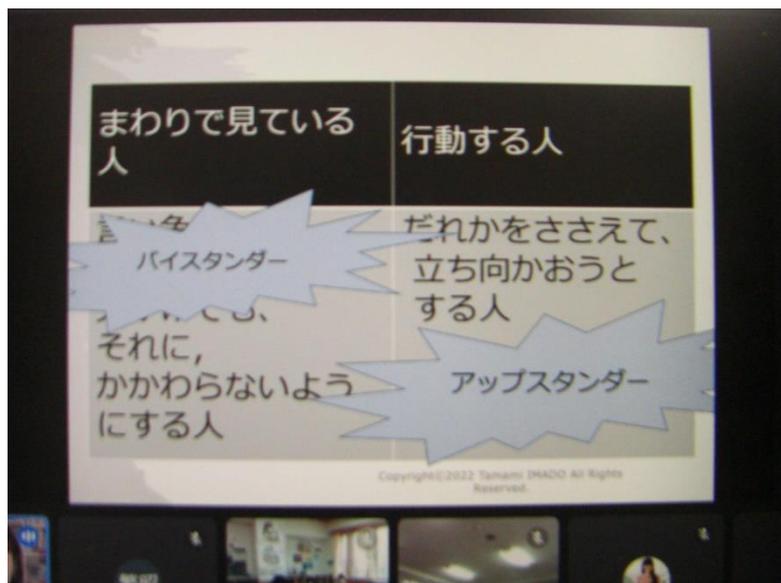
バイスタンダーになるか アップスタンダーになるか

今年度も市島地域の4・5・6年生を対象に情報モラル授業を行いました。市島地域では、幼小中が連携して子どもたちの学びに取り組んでいくことに重点をおき、幼小の連携や小中の連携に積極的に取り組んでいます。今回の情報モラル授業は、小・小連携の一環と位置づけ、各校からオンラインで授業に参加しました。



講師は一般社団法人メディア教育研究室代表理事の今度（いまだ）珠美さんです。私も6年生と一緒に参加し「ネットいじめ」について考えました。ネットいじめとは、「デジタル機器やサイト、アプリを使って、相手を脅したり傷つけたり悲しませたり困らせたりすること」であることを確認し、事例をもとにその時の気持ちやどんな行動をとるのがよいか、個人やグループで考え、発表し合う授業展開でした。





子どもたちは、もし身近にそうした場面があればどのように行動するのか真剣に考えていました。

授業の最後に今度さんから、「友だちが困っていると気づいた時にあなたはどんな行動をしますか。

その様子をまわりで見ている人（バイスタンダー）になるか。行動する人（アップスタンダー）になるか」というお話を頂きました。

私が出合ったいじめに関する書籍に共通するのも『いじめをなくす最大の方法は傍観者をなくすことである』とあります。

また、6年生が「人権」をテーマに学習を始めるきっかけとなる授業の講師の方からも「『する』を許さず『される』を責めず 傍観者なし」と話して頂いたことを思い出していました。

今日は5年生と6年生に授業頂きました。明日は4年生が授業を受けます。市島地域と一緒に情報モラル授業を行うのは今年で3年目になります。地域の同学年で同じ内容を学ぶ経験を継続することが、中学校へ向けて情報モラルの向上と誰も傷ついたり傷つけたりしない人間関係の構築へとつながっていけばと地域の先生方全員の願いでもあります。